

地籍調査成果電子納品要領

平成 17 年 4 月

国土交通省 土地・水資源局

— 目 次 —

1	適用	1
2	フォルダ構成	2
2.1	全体構成	2
2.2	地籍調査フォルダ構成	5
3	成果品の管理項目	9
3.1	測量情報管理項目	9
3.2	地籍調査成果管理項目	14
4	ファイル形式	16
4.1	ファイル形式	16
4.2	地籍調査成果ファイル	16
5	ファイルの命名規則	31
5.1	地籍調査成果ファイル	31
6	検符等及び成果の検査	39
6.1	検符及び押印	39
6.2	電子納品成果の検査	39
7	電子媒体	41
7.1	電子媒体に貼るラベルについて	41
8	その他留意事項	42
8.1	電子納品の対象外となる成果等	42
8.2	測地系	42
	付属資料 1	43
1-1	測量情報管理ファイルの DTD 例	43
1-2	地籍調査成果管理ファイルの DTD 例	46
	付属資料 2	47
2-1	測量情報管理ファイルの XML 例	47
2-2	地籍調査成果管理ファイルの XML 例	52
	付属資料 3	66
3-1	地籍調査成果簿出力フォーマット	66

1 適用

「地籍調査成果電子納品要領」（以下「本要領」という。）は、国土調査法に基づく地籍調査の地籍調査作業規程準則及び同運用基準に従って、地籍調査の C、D、E、F、G 工程（A、B、H 工程は除く）から作成される成果品を電子的手段により引き渡す場合に適用する。

【解説】

本要領は、地籍調査の成果等を電子納品する際の標準的な仕様を定めるものである。

本要領に定めない事項については、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び、「測量成果電子納品要領(案)」に従うこと。

2 フォルダ構成

2.1 全体構成

電子的手段により引き渡される地籍調査の成果品は「図 2-1 フォルダ全体構成図」に示すフォルダ構成とする。

測量成果を格納する「SURVEY」フォルダの下に「TISEKI」、「DOC」のサブフォルダと、測量情報管理ファイルを格納する。管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。

「TISEKI」サブフォルダの下には、「測量記録」、「測量成果」、「その他」を格納するため「WORK」、「DATA」、「OTHRs」のサブフォルダを置く。また地籍調査の成果等及び、地籍調査成果管理ファイルを格納し、管理ファイルを規定する DTD 及び XSL ファイルも合わせて格納する。

【留意事項】

- ①フォルダ名称は、半角英数大文字とする。
- ②格納する電子データファイルがないフォルダは作成しなくてもよい。
- ③XSL ファイルの格納は任意とする。

【解説】

(1) 電子媒体ルートフォルダ

1) 業務管理ファイル

電子媒体ルートフォルダに格納する「業務管理ファイル」は「業務管理項目」（業務の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「INDEX_D.XML」とする。

「業務管理項目」の詳細は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」に示すとおりである。

(2) SURVEY フォルダ（測量データフォルダ）

1) 測量情報管理ファイル

「SURVEY」フォルダに格納する「測量情報管理ファイル」は、「測量情報管理項目」（測量情報の属性を表すデータ）を XML 文書で記述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURVEY.XML」とする。

「測量情報管理項目」の詳細は、「3.1 測量情報管理項目」に示すとおりである。

(3) TISEKI サブフォルダ（地籍調査サブフォルダ）

1) 地籍調査成果管理ファイル

「TISEKI」フォルダに格納する「地籍調査成果管理ファイル」は、「地籍調査成果管理項目」（地籍調査成果の属性を表すデータ）を XML 文書で記

述したファイルであり、ファイル名称を半角英数大文字で「SURV_TSK.XML」とする。なお、「TISK_D01.DTD」もこのフォルダに格納するものとする。「地籍調査成果管理項目」の詳細は、「3.2 地籍調査成果管理項目」に示すとおりである。

2) 測量記録サブフォルダ (WORK)

地籍調査の大工程で成果品を作成する過程の記録を格納する。本フォルダ以下には実施した大工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 2-2 の地籍調査フォルダに記す。

3) 測量成果サブフォルダ (DATA)

地籍調査の大工程の最終成果品（次の工程に引き渡すもの）を格納する。本フォルダ以下には実施した大工程に応じて、測量細区分を示すサブフォルダを置く。サブフォルダ構成は図 2-2 の地籍調査フォルダに記す。

4) その他データサブフォルダ (OTHR)

地籍調査における各種証明書、説明書等を格納する。

(4) DOC サブフォルダ (ドキュメントサブフォルダ)

「DOC」サブフォルダに格納する「ドキュメントファイルは、当該地籍調査の業務の特記仕様書や、業務期間中にやりとりされた協議書の電子ファイルがこれに相当する。

これらのファイル保存形式及びファイル名称は以下に従うものとする。

表 2-1 DOC サブフォルダ内の成果

納品物の名称	ファイル形式	ファイル名称	備考
特記仕様書	PDF	SPECS	受発注者間の協議によりオリジナルファイルも可とする。
協議書	PDF	MEETS	複数協議書ファイルが存在する場合、連番（3桁）をファイル名称の後に付加する。
実施報告等	オリジナル	SUVRP	

例えば協議書が 10 回分ある場合、ファイル名称は「MEETS001.PDF、MEETS002.PDF、MEETS003.PDF・・・MEETS010.PDF」となる。

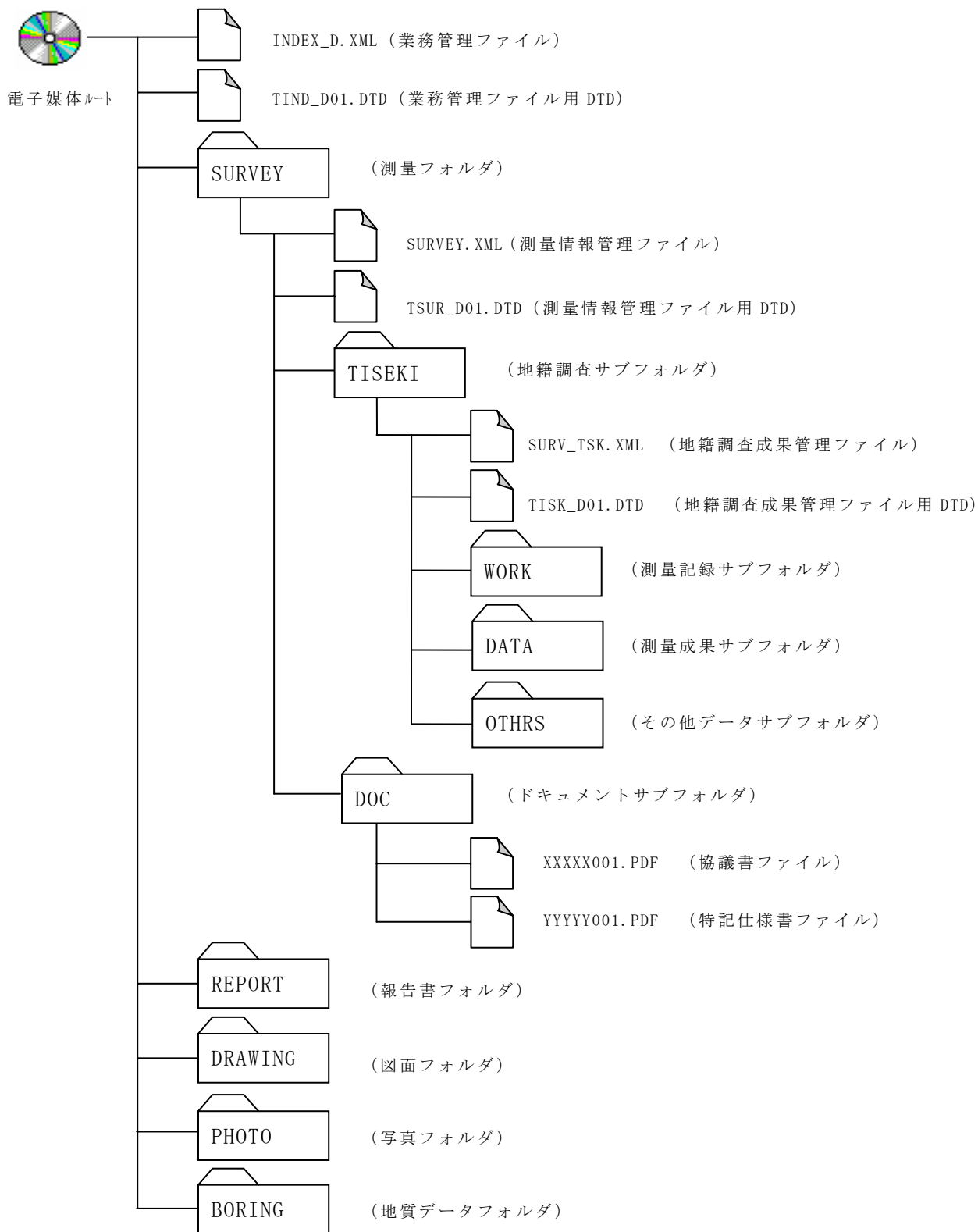


図 2-1 フォルダ全体構成図

2.2 地籍調査フォルダ構成

地籍調査の成果等を格納するフォルダには次の「WORK」「DATA」「OTHR」のサブフォルダを置き、各々の成果等を格納する。

- ・「WORK」サブフォルダには地籍調査の記録を格納する。
- ・「DATA」サブフォルダには地籍調査の成果を記録する。
- ・「OTHR」サブフォルダには測量機器検定証明書、ファイル説明書等のデータを格納する。

さらに、「WORK」「DATA」サブフォルダは、その下に実施した大工程に応じて、地籍調査細区分を示すサブフォルダを設け、成果を格納する。

【解説】

測量成果格納フォルダ（「TISEKI」）の下に、地籍調査の大工程で成果品を作成する過程の記録（精度管理表等）と、地籍調査の大工程の最終成果品（成果表等）とに分類して格納するためのサブフォルダを作成し、各々の下に当該成果を格納する。

「WORK」「DATA」においては、各々、測量地区（地番区域ではない）および、精度区分に応じて成果等を整理する必要がある場合については、それぞれの細区分サブフォルダを設け当該成果を格納するものとする。これらのサブフォルダは、それぞれ表 2-2 に示す名称とする。なお、地籍調査成果がないサブフォルダは省略することができるものとする。

表 2-2 地籍調査におけるフォルダ構成

測量区分	成果区分	地籍調査細区分	サブフォルダ名
地籍調査 < TISEKI >	測量記録 < WORK >	地籍図根三角測量 < CPROC_* >	/TISEKI /WORK/CPROC_*
		地籍図根多角測量 < DPROC_* >	/TISEKI /WORK/DPROC_*
		一筆地調査 < EPROC_* >	/TISEKI /WORK/EPROC_*
		地籍細部測量 < F1PROC_* >	/TISEKI /WORK/F1PROC_*
		原図の作成 < F2PROC_* >	/TISEKI /WORK/F2PROC_*
		地積測定 < GPROC_* >	/TISEKI /WORK/GPROC_*

		対空標識の設置 < PAPROC_* >	/TISEKI /WORK/PAPROC_*
		空中写真撮影 < PBPROC_* >	/TISEKI /WORK/PBPROC_*
		標定点測量 < PCPROC_* >	/TISEKI /WORK/PCPROC_*
		空中三角測量（航測法） < PDPROC_* >	/TISEKI /WORK/PDPROC_*
		空中三角測量（併用法） < PEPROC_* >	/TISEKI /WORK/PEPROC_*
		図化 < PFPROC_* >	/TISEKI /WORK/PFPROC_*
	測量成果 < DATA >	地籍図根三角測量 < CPROC_* >	/TISEKI /DATA/CPROC_*
		地籍図根多角測量 < DPROC_* >	/TISEKI /DATA/DPROC_*
		一筆地調査 < EPROC_* >	/TISEKI /DATA/EPROC_*
		地籍細部測量 < F1PROC_* >	/TISEKI /DATA/F1PROC_*
		原図の作成 < F2PROC_* >	/TISEKI /DATA/F2PROC_*
		地積測定 < GPROC_* >	/TISEKI /DATA/GPROC_*
		対空標識の設置 < PAPROC_* >	/TISEKI /DATA/PAPROC_*
		空中写真撮影 < PBPROC_* >	/TISEKI /DATA/PBPROC_*
		標定点測量 < PCPROC_* >	/TISEKI /DATA/PCPROC_*
		空中三角測量（航測法） < PDPROC_* >	/TISEKI /DATA/PDPROC_*
		空中三角測量（併用法） < PEPROC_* >	/TISEKI /DATA/PEPROC_*

		図化 < PFPROC_* >	/TISEKI /DATA/PFPROC_*
	その他データ < OTHRS >		/TISEKI /OTHRS

例えば地籍調査区分内で複数地区、複数精度区分の地籍調査作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。

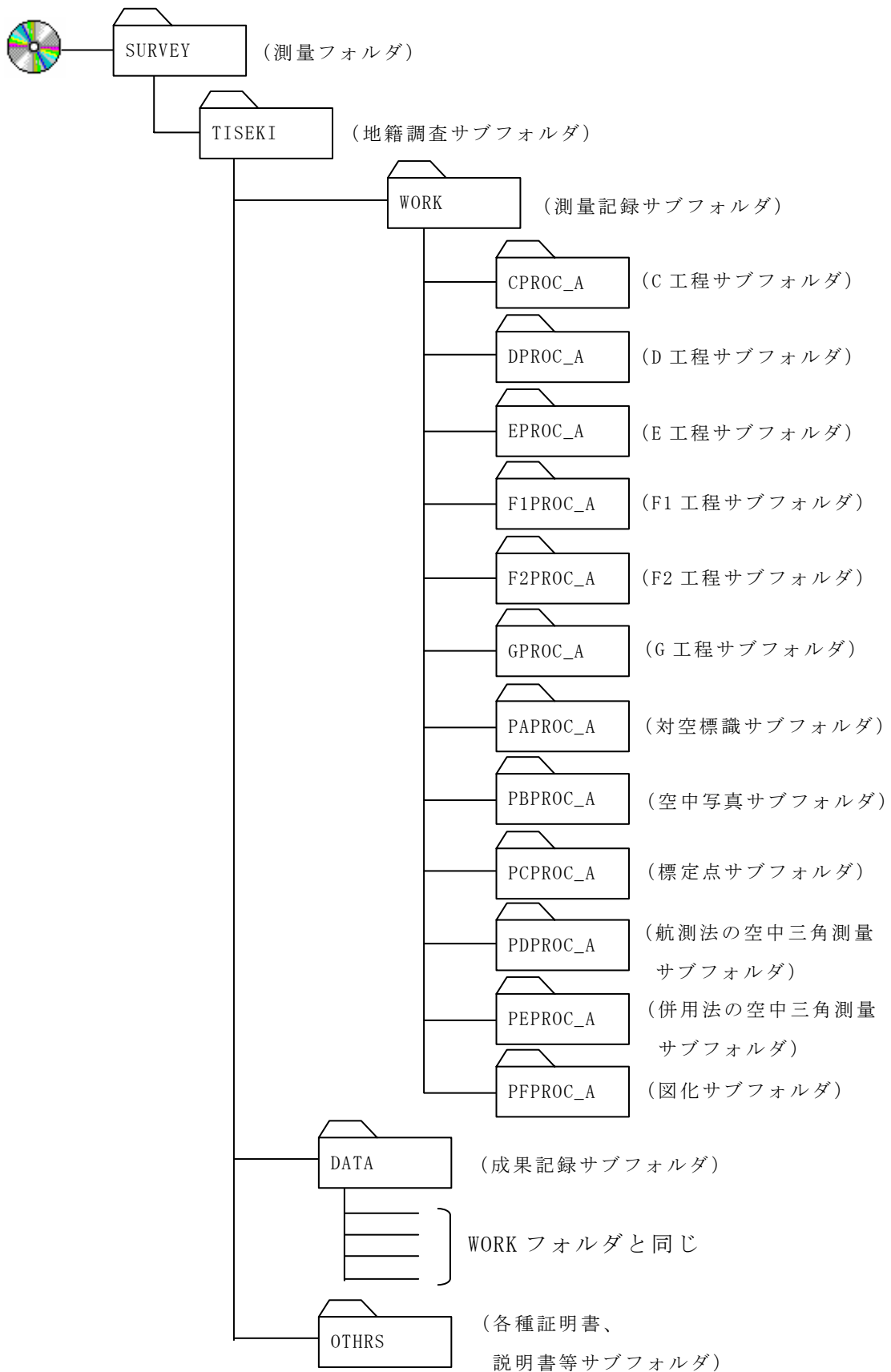


図 2-2 地籍調査フォルダ構成

3 成果品の管理項目

3.1 測量情報管理項目

成果品の電子媒体に格納する測量情報管理ファイル（SURVEY.XML）に記入する測量情報管理項目は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 測量情報管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度	
基礎情報	適用要領基準	電子成果品の作成で適用した要領の版（「地籍 200502-01」で固定）を記入する。	全角文字 半角英数字	30	▲	◎	
	助言番号	国土地理院が発行する「助言番号」を記入する。	半角英数字	8	□	◎	
	製品仕様書名または作業規程名	当該測量の基となった製品仕様書または作業規程名を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎	
	地籍調査成果格納用フォルダ名	地籍調査成果を格納するフォルダ名称（TISEKI で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	◎	
	基準点測量成果格納用フォルダ名	基準点測量成果を格納するフォルダ名称（KITEN で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	水準測量成果格納用フォルダ名	水準測量成果を格納するフォルダ名称（SUIJUN で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	地形測量成果格納用フォルダ名	地形測量成果を格納するフォルダ名称（CHIKEI で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	路線測量成果格納用フォルダ名	路線測量成果を格納するフォルダ名称（ROSEN で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	河川測量成果格納用フォルダ名	河川地形測量成果を格納するフォルダ名称（KASEN で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	用地測量成果格納用フォルダ名	用地測量成果を格納するフォルダ名称（YOUCHI で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	○	
	ドキュメント格納用フォルダ名	ドキュメント類を格納するフォルダ名称（DOC で固定）を記入する。	半角英数 大文字	8	▲	◎	
	場所情報	測量区域番号	測量を行った区域の番号を記入する。	半角数字	2	□	◎
測量区域名		測量を行った区域の名称を記入する。	全角文字 半角英数	64	□	○	
区域情報		西側境界座標経度	対象領域または測量地域の最西端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
		東側境界座標経度	対象領域または測量地域の最東端の座標を経度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 西経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○
	北側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最北端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	□	○	

	南側境界座標緯度	対象領域または測量地域の最南端の座標を緯度で表す。 度(3桁)分(2桁)秒(2桁) 南経の場合は頭文字に -(HYPHEN-MINUS)を記入する。	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	8	<input type="checkbox"/>	○	
	平面直角座標系	平面直角座標(19系)の系番号で記入する。	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	○	
	西側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最西端座標をY座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	○	
	東側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最東端座標をY座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	○	
	北側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最北端座標をX座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	○	
	南側境界平面直角座標	輪郭線(図郭線)内の対象領域の最南端座標をX座標で記入する。(m)	半角数字 -(HYPHEN-MINUS)	11	<input type="checkbox"/>	○	
測量情報	測量区分	本要領に規定する「測量区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	◎	
	地籍調査細区分	本要領に規定する「地籍調査細区分」を記入する。	全角文字 半角英数字	32	<input type="checkbox"/>	◎	
	地籍調査記録フォルダパス名	地籍調査記録のフォルダパス名を記入する。(SURVEY以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	◎	
	地籍調査成果フォルダパス名	地籍調査成果のフォルダパス名を記入する。(SURVEY以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	○	
	その他データフォルダパス名	各種証明書、説明書等のフォルダパス名を記入する。(SURVEY以下のフォルダ区切りは「/」で表す。)	半角英数字 大文字	64	<input type="checkbox"/>	○	
	測量区域 No	場所情報に記された「測量区域番号」を記入する。(※測量区域番号に記されたものの中から選択する。DTD文法上改名)	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	◎	
	等級精度	等級	地籍調査成果等の等級を表す記号(数字)を記入する。	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	◎
		精度	地籍調査成果等の精度を記入する。	半角数字	1	<input type="checkbox"/>	
	画像種別	白黒、カラーの別を記入する。	半角数字	2	<input type="checkbox"/>	○	
	解像度	地籍調査成果等の解像度を記入する(m)	半角数字	7	<input type="checkbox"/>	○	
	アナログデジタル区分	地籍調査手法について、アナログ、デジタルの区分を記入する。	半角数字	1	<input type="checkbox"/>	○	
	新規修正区分	対象地籍調査の新規地籍調査か修正地籍調査かの区分を記入する。	半角数字	1	<input type="checkbox"/>	○	
	面積	地籍調査範囲の概略の面積を記入する。単位:k m ²	半角数字	6	<input type="checkbox"/>	○	
	距離	地籍調査延長距離の概数単位: km	半角数字	6	<input type="checkbox"/>	○	
点数	基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	○		
モデル数	空中三角測量における、モデルの数を記入する	半角数字	4	<input type="checkbox"/>	○		
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△	
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△	
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△	

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 □：電子媒体作成者が記入する項目。

▲：電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎：必須記入項目。

○：条件付き必須記入項目。（データが分かる場合は必ず記入する）

△：任意記入項目。

【解説】

(1) 「助言番号」

地籍調査の場合は「99999999」（8桁）を記入する。公共測量の届出を行なった場合は、国土地理院から発行された番号「助言番号」を記入する。文書番号から助言番号への記入方法は表 3-1-1 のとおりとする。

表 3-1-1 略称記号と助言番号の対象表

略称記号	文書番号	名称	略称記号	文書番号	名称
A	国地道公	北海道地方測量部	G	国地中公	中国地方測量部
B	国地東公	東北地方測量部	H	国地四公	四国地方測量部
C	国地関公	関東地方測量部	I	国地九公	九州地方測量部
D	国地北公	北陸地方測量部	J	国地沖公	沖縄支所
E	国地部公	中部地方測量部	K	企指公	企画部測量指導課
F	国地近公	近畿地方測量部			

例) 助言番号

国地道公発第 2 2 6 号

平成 13 年 ○ 月 ○ 日

平成 13 年度の北海道地方測量部の助言番号

→ H13A0226

(2) 製品仕様書名または作業規程名

当該地籍調査作業の基となった製品仕様書名または作業規程名を記入する。（例：地籍調査作業規程準則（改定平成 14 年 2 月 20 日国土交通省令第 11 号））

(3) 場所情報（カテゴリ）

本地籍調査業務の対象となった地籍調査区域の数だけ繰り返して記入する。（例：3箇所が調査実施対象→3回繰り返す）

1) 測量区域番号・測量区域名称

地籍調査区域が複数にわたる場合、実際に地籍調査を行った区域毎に区域番号を割当てるとする。割当てられた地籍調査区域毎に測量区域番号・測量区域名称及び区域情報について記入する。

2) 区域情報

区域情報については、「境界座標」、「平面直角座標値」のいずれかを用いて記入する。業務内容によって、場所情報を記入できない場合は記入する必要はない。区域情報の記入にあたっては、上記2項目のうち「平面直角座標」による記入が最も望ましい。緯度経度、または平面直角座標のどちらかまたは双方を記入する。

(4) 測量情報 (カテゴリ)

本地籍調査業務で行われた地籍調査種類を「地籍調査細区分」の単位（地籍調査実施場所が異なる場合は別物とする）で記入し、細区分の数だけ繰り返して記入する。

1) 測量区分

測量区分の名称は「地籍調査」を記入する。サブフォルダ名は「TISEKI」である。

2) 地籍調査細区分

地籍調査細区分の名称は、下記の例に示すように細区分を示す英数字を付した名称を記入する。(2.2 地籍調査フォルダ構成を参照のこと)

地籍調査細区分は、地籍調査区域及び等級・精度で区分するもので、末尾の英数字はA~Z, 1~9の順に使用することとして、該当する地籍調査細区分サブフォルダ名の末尾英数字と一致させることが望ましい。

例1：地籍調査で単独の地籍調査細区分サブフォルダに成果を格納する場合「地籍調査」と記入する。(地籍調査細区分サブフォルダ名：基準点測量で複数の地籍調査細区分サブフォルダに成果を格納する場合「地籍調査 A」「地籍調査 B」と記入する。(地籍調査細区分サブフォルダ名：CPROC_A、CPROC_B・・・))

例2：複数区域 (A, B) および複数等級・精度 (甲1、甲2) が混在する場合、地区を優先とする

CPRPC_A A地区の甲1

CPRPC_B A地区の甲2

CPROC_C B地区の甲1

CPROC_D B地区の甲2

3) 地籍調査記録フォルダパス名・地籍調査成果フォルダパス名

地籍調査成果が収められた測量記録フォルダ及び測量成果フォルダ以下のフォルダのパス名を記入する。当該地籍調査の成果が中間成果であって成果フォルダに格納されていない場合には記入しない。記入方法は以下に従う。

①フォルダ階層表示は「/」で区切る。

②パスの書出しは「SURVEY」とする。

③成果区分のサブフォルダのパス名は「DATA」とする。

4) 等級・精度

地籍調査の「等級」または「精度」のどちらか一方を必ず記入する。

ただし、地籍図根三角測量など精度が記入できない場合は「0」を記入する。精度の記入方法は表 3-1-2 のとおりとする。

表 3-1-2 精度表

地籍調査精度	記入コード
甲 1	1
甲 2	2
甲 3	3
乙 1	4
乙 2	5
乙 3	6

5) 画像種別

空中写真撮影について、白黒、カラーの別を以下の数字（半角）で記入する。

- ・白黒 : 1
- ・カラー : 2

6) 解像度

地籍調査成果等の解像度をm単位で記入する。

7) アナログデジタル区分

地籍調査の測量手法について、アナログ（従来の測量方法）／デジタル（デジタル機器の利用）の区分を以下の数字（半角）で記入する。

- ・アナログ : 1
- ・デジタル : 2

8) 新規修正区分

地籍調査を新規に実施地区の場合「1」、再調査をする場合「2」を記入する。

9) 面積

地籍調査の対象範囲の概略面積（実施数量）を記入する（単位はkm²）。

10) 距離

地籍調査範囲の概算距離を記入する。（単位はkm）

11) 点数

当該基準点の点数を記入する。(与点の数は除く)

12) モデル数

空中三角測量における、モデルの数を記入する。

3.2 地籍調査成果管理項目

成果品の電子媒体に格納する地籍調査成果管理ファイル (SURV_TSK.XML) に記入する地籍調査成果管理項目は、表 3-2 に示すとおりである。

表 3-2 地籍調査成果管理項目

カテゴリー	項目名	記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
地籍調査成果情報	地籍調査区分フォルダ名	「地籍調査区分」のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)他	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果区分フォルダ名	測量成果区別(測量記録、成果データ)のフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査細区分フォルダ名	表 2-2 で定義されたフォルダ名を記入する。(格納サブフォルダ名)	半角英数字 大文字	8	<input type="checkbox"/>	○
	地籍調査成果名称	地籍調査成果の名称を記入する(例:精度管理表、観測手簿等)	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果ファイル形式	地籍調査成果ファイルの記録形式を記入する。	半角英数字	12	<input type="checkbox"/>	◎
	地籍調査成果レコードフォーマット	地籍調査成果ファイルのレコードフォーマットの名称や説明を記入する。	全角文字	64	<input type="checkbox"/>	△
	地籍調査成果作成ソフトウェア名	地籍調査成果を作成したソフトウェア名をバージョンを含めて記入する。	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	○
	イ成果情報	地籍調査成果ファイル名	測量成果のファイル名を、拡張子を含めて記入する。	半角英数字 大文字	12	<input type="checkbox"/>
地籍調査成果ファイル名副題		内容が分かる程度の副題を記入する	全角文字 半角英数字	64	<input type="checkbox"/>	○
その他	受注者説明文	受注者側で報告書に付けるコメントを記入する。	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
	予備	その他予備事項があれば記入する。(複数記入可能)	全角文字 半角英数字	127	<input type="checkbox"/>	△
ソフトウェア用TAG		ソフトウェアメーカーが管理のために使用する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	64	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字は、2文字で全角文字1文字に相当する。

【記入者】 : 電子媒体作成者が記入する項目。

▲ : 電子媒体作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目。

【必要度】 ◎ : 必須記入項目。

○ : 条件付き必須記入項目。(データが分かる場合は必ず記入する)

△ : 任意記入項目。

【解説】

(1) 地籍調査成果情報（カテゴリ）

格納されている成果の種類の数分だけ繰り返し記入する。また、項目名の成果ファイル情報については、成果の数だけ繰り返し記入する。

(2) 地籍調査区分フォルダ名

地籍調査区分のフォルダ名「TISEKI」を記入する。

(3) 地籍調査成果区分フォルダ名

地籍調査の成果区分の以下のサブフォルダ名を記入する

- ① 「WORK」・・・ 成果品を作成する過程の記録を格納する。
- ② 「DATA」・・・ 最終成果品を格納する。
- ③ 「OTHSR」・・・ 証明書、説明書等を格納する。

(4) 地籍調査細区分フォルダ名

細区分名称は表 2-2 地籍調査フォルダ構成に示す記録サブフォルダ名を記入する。

地籍調査の作業を区分けせず 1 つのサブフォルダで作成する場合は、「CPROC_A」、複数地区、複数精度区分の測量作業を区分する場合、「CPROC_A～CPROC_Z、CPROC_1～CPROC_9」となる。

(5) 地籍調査成果名称

地籍調査成果の名称（表 4-1 の成果等の名称を参照）を記入する。

(6) 地籍調査成果ファイル形式・地籍調査成果レコードフォーマット

地籍調査成果ファイル形式を記入する。地籍調査成果レコードフォーマットの名称または準拠した仕様等の説明を記入する。

『測量成果ファイル形式』: 「PDF」「TXT」「DOC」等通常はファイルの拡張子を記入する

『測量成果レコードフォーマット』: 特に説明を要するものについては、必ず記入する。なお、市販の広く流通したファイル形式のものについては省略する。

(7) 地籍調査成果ファイル名

ファイル命名規則に従って付けた成果のファイル名を記入する。（拡張子含む）

(8) 地籍調査成果ファイル名副題

成果ファイル個々について利用上副題をつけて管理することが望ましいものについて、成果の内容がわかる記述を行う。具体的な内容は受発注者間の協議により定める。

4 ファイル形式

4.1 ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

(1) 業務管理ファイルおよび各成果管理ファイル

業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び測量成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。

(2) 測量成果等

測量成果等のデータファイルの形式は「4.2 地籍調査成果ファイル」に示すとおりとする。

(3) スタイルシート

管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合は XSL に準じる。

【解説】

- ・本要領「第2章 フォルダ構成」解説に示したように、業務管理ファイル、測量情報管理ファイル、及び地籍調査成果管理ファイルのファイル形式は XML とする。
- ・地籍調査成果等のファイル形式は、「4.2 地籍調査成果ファイル」において『表 4-1(a) C 工程成果のファイル形式』から、『表 4-1(k) PF 工程成果のファイル形式』に示される形式で納品する。
- ・各管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、XSL に準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、各管理ファイルと同じ場所に格納する。

4.2 地籍調査成果ファイル

地籍調査の成果は、表 4-1 に示されるファイルの形式によって成果ファイルを作成するものとする。具体的な方法は運用基準によるものとする。

表 4-1(a) C 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地籍 図根 三角測量	基準点成果簿（写）	PDF	
	既知点点の記	PDF	

	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	選点手簿	PDF	
	三角点現況調査報告書	PDF	
	選点図	PDF	
	平均図	PDF	
	建標承諾書	対象外	
	埋標手簿	PDF	
	観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	偏心計算簿	PDF	
	点検計算簿	PDF	
	網平均計算簿	PDF	
	受信状況図 (=カーテン情報)	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	三角点精度管理表	PDF	
	三角点精度管理表付図	PDF	
	三角点成果簿	PDF	
	三角点成果簿 (数値データ)	TXT	
	三角点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	点の記	PDF	
	測量標の地上写真	PDF	+オリジナル数値データも可

表 4-1(b) D 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地籍図根 多角測量	基準点成果簿 (写)	PDF	
	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	選点図	PDF	
	平均図	PDF	

	観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	点検計算簿	PDF	
	網平均計算簿	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	図根多角点精度管理表	PDF	
	図根多角点成果簿	PDF	
	図根多角点成果簿（数値データ）	TXT	
	図根多角点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	測量標の地上写真	PDF	+オリジナル数値データも可

表 4-1(c) E 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
一筆地 調査	調査図素図	PDF	
	調査図一覧図	PDF	
	地籍調査票（データ出力用）	PDF	+オリジナル数値データも可
	調査図	PDF	

表 4-1(d) F1 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地籍細部 測量	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	地籍細部図根測量 観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	地籍細部図根測量 観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	地籍細部図根測量 座標計算書	PDF	
	地籍細部図根測量 精度管理表	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	三次元網平均計算簿	PDF	
	地籍細部図根測量 点検計算簿	PDF	
	地籍細部図根測量 セット間較差の点検及び座標計算簿	PDF	
	地籍細部図根測量 成果簿	PDF	

	地籍細部図根測量 成果簿（数値データ）	TXT	
	細部多角点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	細部図根点配置図	SXF	他の CAD 形式でも可
	一筆地測量 観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	一筆地測量 観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	一筆地測量 座標計算書	PDF	
	一筆地測量 セット間較差の点検及び座標計算簿	PDF	
	筆界点成果簿	PDF	
	筆界点成果簿（数値データ）	TXT	
	一筆地測量 精度管理表	PDF	

表 4-1(e) F2 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
原図の作成	原図（地籍図）	対象外	
	地籍明細図	対象外	
	地籍図一覧図	SXF	他の CAD 形式でも可
	筆界点番号図	SXF	他の CAD 形式でも可

表 4-1(f) G 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
地積測定	地積計算簿	PDF	
	地積測定精度管理表	PDF	
	地目別集計表	PDF	
	大字別集計表	PDF	
	字毎地目別地積集計表	PDF	
	地積測定成果簿	PDF	
	地積測定成果簿（数値データ）	TXT	

表 4-1(g) PA 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考

対空標識 の設置	基準点等成果簿（写）	PDF	
	標定点選点図	PDF	
	標定点選点手簿	PDF	
	航測図根点選点図	PDF	

表 4-1(h) PB 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
空中写真 撮影	ネガフィルム	対象外	
	写真標定図	PDF	他の CAD 形式でも可
	密着印画	対象外	
	撮影記録	PDF	
	精度管理表	PDF	
	対空標識確認写真	PDF	

表 4-1(i) PC 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
標定点測 量	使用機器検定証明書・試験検査成績書	PDF	
	使用プログラム検定証明書	PDF	
	平均図	PDF	
	観測図	PDF	
	観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	網平均計算簿	PDF	
	偏心要素測定紙	※注	
	対空標識点の偏心計算簿	PDF	
	受信状況図（=カーテン情報）	PDF	
	観測スケジュール	PDF	
	GPS 観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	GPS 観測記簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	偏心計算簿	PDF	
	三次元網平均計算簿	PDF	
	点検計算簿	PDF	
	太陽による方位角観測手簿	PDF	+オリジナル数値データも可

	太陽による方位角計算簿（年表不要）	PDF	
	太陽による方位角計算簿（年表使用）	PDF	
	標定点網図	SXF	他の CAD 形式でも可
	標定点成果簿	PDF	
	標定点成果簿（数値データ）	TXT	
	精度管理表	PDF	
	対空標識点明細票	PDF	

※注： 偏心要素測定紙は、対空標識点明細票の該当する標識点と共にファイル化する。

表 4-1(j) PD、PE 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
空中三角 測量 (航測法)	空中三角測量の器械座標読定値	PDF	測定手簿 +オリジナル数値データも可
	内部標定残差表（指数残差表）	PDF	+オリジナル数値データも可
及び 空中三角 測量 (併用法)	相互接続標定計算簿	PDF	+オリジナル数値データも可
	基準点残差表	PDF	+オリジナル数値データも可
	標定要素・鉛直点表	PDF	+オリジナル数値データも可
	タイポイント較差表	PDF	+オリジナル数値データも可
	調整計算精度表	PDF	+オリジナル数値データも可
	パスポイント・タイポイント成果表	PDF	+オリジナル数値データも可
	補備測量観測計算諸簿	※注	
	補備測量成果簿	※注	
	空中三角測量成果表	PDF	+オリジナル数値データも可
	空中三角測量実施一覧図	PDF	
	航測図根点配置図	SXF	他の CAD 形式でも可
	航測図根点成果簿	PDF	
	航測図根点成果簿（数値データ）	TXT	
筆界点成果簿	PDF		
筆界点成果簿（数値データ）	TXT		
空中三角測量精度管理表	PDF		

※注： 補備測量を実施した場合は、地上法の地籍調査細区分の該当するファイル形式に従う。

表 4-1(k) PF 工程成果のファイル形式

地籍調査 細区分	成果等の名称	ファイル形式	備考
図化	原図（地籍図）	対象外	
	地籍明細図	対象外	
	地籍図一覧図	SXF	他の CAD 形式でも可
	筆界点番号図	SXF	他の CAD 形式でも可

(※) ファイル形式の補足説明

(*1)XML eXtensible Markup Language(拡張型構造化記述言語)

文字列をタグと呼ばれる<>で括った予約語で囲み、文書の整形や他文書へのリンクを記述する。文書の構造を DTD というファイルに定義することで、表現方法の指定や文書中の文字列に意味を付加する独自のタグを拡張定義できることに特徴がある。

(*2)DTD Document Type Definitions(文書型定義)

XML 文書を構成する要素が現れる場所、順序、出現回数などの文書構造を定義する仕組みである。

(*3)XSL eXtensible Stylesheet Language(エクセスエル)

XML 文書に対してスタイルを設定して、画面や印刷するための書式を整えたり、組み版を行うための仕様である。

(*4)PDF Portable Document Format(ピーディーエフ)

米 Adobe Systems Incorporated が開発したドキュメント・ビューア・ソフト Acrobat で、表示・印刷できるファイル形式である。Acrobat は、ドキュメントを作成した環境と別の環境(異なる機種、OS)との間におけるドキュメント交換を可能にするものである。

(*5)SXF Scadec data eXchange Format(エスエックスエフ)

(財)日本建設情報総合センター(JACIC)が組織した、CAD データ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)により策定された、STEP AP202(製品モデルとの関連を持つ図面)規格を実装した CAD データ交換標準である。ISO10303/TC184/SC4(STEP 規格を審議する国際会議)にて、STEP 規格を実装したものであることが認知されている。SXF の物理ファイルには、国際標準に則った p21(Part21)形式、国内 CAD データ交換のための sfc 形式 2 種類がある。

本要領案で記述しているファイル形式の SXF とは、CAD データの納品フォーマットを国際標準に則った Part21 形式のことである。

【運用基準】

(地籍図根三角測量)

- 1) 基準点成果簿（写）・選点手簿・三角点現況調査報告書は、PDF 形式で納品する。ファイルは受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 2) 既知点点の記、点の記は PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 3) 選点図・平均図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 4) 埋標手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 6) 偏心計算簿・点検計算簿・網平均計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 受信状況図（＝カーテン情報）、観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 8) 三角点精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 9) 三角点精度管理表付図は、PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 10) 三角点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は 1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。三角点成果簿数値データは、等級（次数）種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 11) 三角点網図は、SXF（p21）で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 12) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。
- 13) 表 4-1(a)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TC*Z*nnn.拡張子」の様につけ、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍図根多角測量)

- 1) 基準点成果簿(写)は PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 2) 選点図・平均図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 3) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 4) 点検計算簿・網平均計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 図根多角点精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 図根多角点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては、利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。図根多角点成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 8) 図根多角点網図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 9) 測量標の地上写真は、受発注者間の協議により PDF 形式またはオリジナル数値データ形式で納品する。
- 10) 表 4-1(b)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TD*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(一筆地調査)

- 1) 調査図素図・調査図一覧図・調査図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または、図の種別単位で作成する。
- 2) 地籍調査票(データ出力用)は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。

なおファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。

- 3) 表 4-1(c)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TE *Z* nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地籍細部測量)

- 1) 地籍細部図根測量及び、一筆地測量の観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 2) 地籍細部図根測量及び、一筆地測量の座標計算書は、PDF 形式で納品する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 3) 地籍細部図根測量及び、一筆地測量の精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 4) 観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 5) 三次元網平均計算簿・点検計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 6) 地籍細部図根測量及び、一筆地測量のセット間較差の点検及び座標計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) 地籍細部図根測量成果簿及び、筆界点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては、利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。地籍細部図根測量成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。また、筆界点成果簿数値データは、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。
- 8) 細部多角点網図・細部図根点配置図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。

- 9) 表 4-1(d)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(原図の作成)

- 1) 地籍図一覧図・筆界点番号図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 4-1(e)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TF*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(地積測定)

- 1) 地積計算簿は、PDF 形式で納品する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 2) 地積測定精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 3) 地目別集計表・大字別集計表・字別地目別集計表は、PDF 形式で納品する。
- 4) 地積測定成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は、付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は 1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。地積測定成果簿数値データは、地番区域、精度区分等、適当な単位にまとめてファイルを作成する。
- 5) 表 4-1(f)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を「TG*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(対空標識の設置)

- 1) 基準点成果簿（写）は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 2) 標定点選点図は、PDF 形式で納品する。ファイルは図単位または図の種類別で作成する。
- 3) 標定点選点手簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 4) 航測図根點選点図は、PDF 形式で納品する。ファイルは図単位または図の種類別で作成する。

- 5) 表 4-1(g)に記載されていない成果等については、ファイル名を「PA*Z*nnn. 拡張子」のようにつけ、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(空中写真撮影)

- 1) 写真標定図は、PDF 形式で納品する。また、受発注者間の協議により CAD データで納品することができる。その場合、PDF 形式の成果等については、受発注者間の協議により納品の有無を決めることができる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 撮影記録は、PDF 形式で納品する。ファイルは、撮影地区単位で作成する。
- 3) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 4) 対空標識確認写真は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 5) 表 4-1(h)に記載されていない成果等については、ファイル名を「PB*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(標定点測量)

- 1) 平均図は PDF 形式で納品する。ファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 観測図は、PDF 形式で納品する。ファイルは図単位または図の種類別で作成する。
- 3) 観測手簿、観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 4) 網平均計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
- 5) 対空標識点の偏心計算書は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 対空標識点の偏心計算書単位で作成する。
- 6) 受信状況図 (=カーテン情報)、観測スケジュールは、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 7) GPS 観測手簿、GPS 観測記簿は、PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。

なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。

- 8) 偏心計算簿、三次元網平均計算簿、点検計算簿は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 9) 太陽による方位角観測手簿は、PDF 形式で作成する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 10) 太陽による方位角計算簿（年表不要）、太陽による方位角計算簿（年表使用）は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 11) 標定点網図は、SXF（p21）で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 12) 標定点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。標定点成果簿数値データは、等級（次数）種別等適当な単位でまとめてファイルを作成する。
- 13) 精度管理表は、PDF 形式で納品する。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。
- 14) 対空標識点明細票は、PDF 形式で納品する。ファイルは、1 対空標識点単位で作成する。
- 15) 表 4-1(i)に記載されていない成果等については、ファイル名を「PC*Z*nnn.拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

（空中三角測量）

- 1) 空中三角測量の器械座標測定値、内部標定残差表（指標残差表）、相互接続標定計算簿、基準点残差表、標定要素・鉛直点表、タイポイント較差表、調整計算精度表、パスポイント／タイポイント成果表は PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。なお、ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え

- 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
- 2) 補備測量を実施した場合の、補備測量計算諸簿及び、補備測量成果簿は、地上法の地籍細部測量の要領に従って格納する。
 - 3) 空中三角測量成果表は PDF 形式で納品する。また受発注者間の協議により PDF 形式に加えてオリジナル数値データを納品することができる。ファイルは、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。
 - 4) 空中三角測量実施一覧図は、PDF 形式で納品する。ファイルは図単位または図の種類別で作成する。
 - 5) 航測図根点配置図は SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
 - 6) 航測図根点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては、利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。航測図根点成果簿数値データは、次数種別等適当な単位にまとめてファイルを作成する。
 - 7) 筆界点成果簿については、PDF 形式で納品するほか、数値データを TXT 形式で納品する。TXT 形式は付属資料 3 の「地籍調査成果簿出力フォーマット」を参照とする。PDF 形式の成果簿は、受発注者間の協議により適当な単位でまとめて作成する。枚数の多い PDF ファイルについては利用の便を考え 100 枚程度に分割してファイルを作成する。筆界点成果簿数値データは、受発注者間の協議により、適当な単位でまとめて作成する。
 - 8) 空中三角測量精度管理表は PDF 形式で納品する。ファイルは、1 成果等 1 ファイルの成果単位で作成する。
 - 9) 表 4-1(j)に記載されていない成果等については、ファイル名を「PD*Z*nnn. 拡張子」、「PE*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(図化)

- 1) 地籍図一覧図・筆界点番号図は、SXF (p21) で納品する。また受発注者間の協議により他の CAD 形式で納品することもできる。なおファイルは、図単位または図の種別単位で作成する。
- 2) 表 4-1(k)に記載されていない測量記録、資料等については、ファイル名を

「TF*Z*nnn. 拡張子」に則して付け、WORK サブフォルダに格納する。ファイル形式は受発注者間の協議により決定する。

(その他)

- 1) 表 4-1(a)～(k)に記載されていない資料については、「その他」サブフォルダに格納することとして、そのファイル形式等は受発注者間の協議により定める。

(共通事項)

オリジナルファイル、拡張したファイル等では、必要に応じてファイル形式、レコードフォーマット等について説明したファイル説明文の電子ファイルを作成し、「その他」サブフォルダに格納して納品する。

5 ファイルの命名規則

5.1 地籍調査成果ファイル

ファイル名、拡張子は半角英数大文字とし、以下の各項目に従うものとする。

(1) 管理ファイル等

- 1) 測量情報管理ファイルは「SURVEY.XML」とし、測量情報管理ファイルの DTD は「TSUR_D01.DTD」（01 は版情報）とする。
- 2) 測量成果管理ファイルは、地籍調査「SURV_TSK.XML」とする。地籍調査成果管理ファイルの DTD は「TISK_D01.DTD」（01 は版情報）とする。
- 3) 各管理ファイルのスタイルシートのファイル名は、「TSUR_D01.XSL」、「TISK_D01.XSL」（01 は版情報）とする。

(2) 測量成果等

地籍調査成果等のファイル名は、以下の規則を原則とし、図 5-1 に従うものとする。

- 1) 図 5-1 の「○○○」部分には、地籍調査細区分毎に設定した記号（表 5-1 参照）を入れる。
- 2) 図 5-1 の「▲▲」部分には、地籍調査成果の種類を表す名称（表 5-3 参照）を入れる。先頭の▲には表 5-2 の設定記号を使い、後ろの▲にはその地籍調査細区分内での連番を割当てる。表 5-3 の地籍調査細区分の記号の 3 文字目が「*」表現となっている部分は、通常「A」を入れる。複数地区や複数精度の場合、「B, C・・・」を入れる。
- 3) 図 5-1 の「nnn」部分には、同一成果のファイル内で割り振った(001～999)連番を入れる。

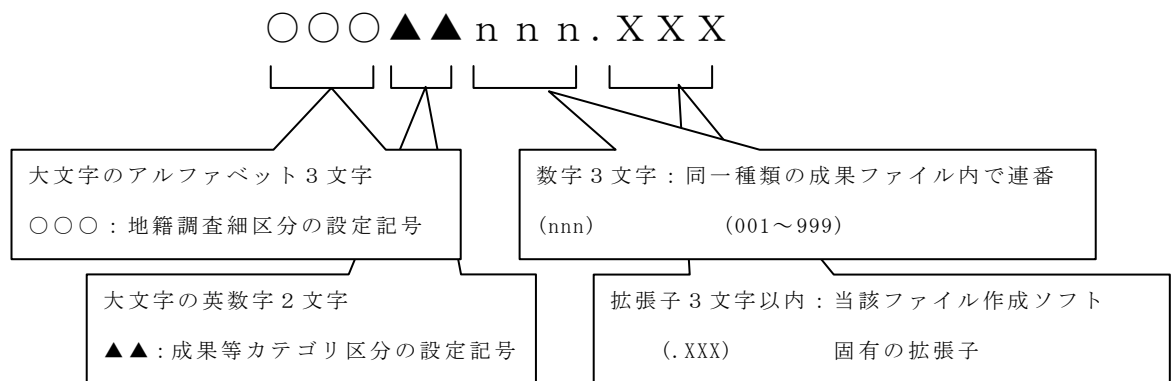


図 5-1 地籍調査成果ファイルの命名規則

【解説】

ファイル名は半角英数字で記述することを原則とする。

ファイル名に使用する文字は、半角（1 バイト文字）で、大文字のアルファ

ベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」のみとすることを基本とする。

表 5-1 地籍調査細区分記号一覧

地籍調査工程大分類	地籍調査細区分	設定記号
地籍図根三角測量	地籍図根三角測量	TC*
地籍図根多角測量	地籍図根多角測量	TD*
一筆地調査	一筆地調査	TE*
地籍細部測量	地籍細部測量	TF*
	原図の作成	TF*
地積測定	地積測定	TG*
対空標識の設置	対空標識の設置	PA*
空中写真撮影	空中写真撮影	PB*
標定点測量	標定点測量	PC*
空中三角測量（航測法）	空中三角測量（航測法）	PD*
空中三角測量（併用法）	空中三角測量（併用法）	PE*
図化	図化	PF*

表 5-2 ファイル名設定記号のカテゴリ区分

成果等のカテゴリ	成果等の名称	DATA, WORK 区分	設定記号
点の成果	基準点等成果簿写	WORK	A
	成果簿	DATA	
面の成果	地籍調査票、地積測定成果簿	DATA	B
点の記	選点手簿、既知点点の記	WORK	C
	点の記	DATA	
手簿・記簿	観測手簿、観測記簿等	WORK	D
計算簿類	計算簿等	WORK	E
網図・一覧図類	選点図、平均図、精度管理表付図、 調査図一覧図	WORK	F
	三角点網図、多角点網図、調査図 素図、筆界点番号図	DATA	
精度管理表	精度管理表	WORK	G

説明書類	基準点現況調査報告書、測量標の地上写真等	WORK	H
その他	使用機器検定証明書・試験検査成績書、使用プログラム検定証明書	WORK	J
		OTHR	
上記カテゴリに属さない成果等	観測スケジュール、受信状況図及び、表 4-1 に記載されていない成果等	WORK	Z
特記仕様書	特記仕様書	DOC	SPECS
協議書	協議書等	DOC	MEETS
実施報告書	実施報告書	DOC	SUVRP

表 5-3(a) C 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
地籍図根三 角測量 <TC*>	基準点成果簿（写）	A1	WORK
	既知点点の記	C1	WORK
	選点手簿	C2	WORK
	三角点現況調査報告書	H1	WORK
	選点図	F1	WORK
	平均図	F2	WORK
	建標承諾書	—	—
	埋標手簿	D1	WORK
	観測手簿	D2	WORK
	観測記簿	D3	WORK
	偏心計算簿	E1	WORK
	点検計算簿	E2	WORK
	網平均計算簿	E3	WORK
	受信状況図（=カーテン情報）	Z1	WORK
	観測スケジュール	Z2	WORK
	三角点精度管理表	G1	WORK
	三角点精度管理表付図	F3	WORK
	三角点成果簿	A2	DATA
三角点成果簿（数値データ）	A3	DATA	

	三角点網図	F4	DATA
	点の記	C3	DATA
	測量標の地上写真	H2	WORK

表 5-3(b) D 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
地籍図根多 角測量 <TD* >	基準点成果簿（写）	A1	WORK
	選点図	F1	WORK
	平均図	F2	WORK
	観測手簿	D1	WORK
	観測記簿	D2	WORK
	点検計算簿	E1	WORK
	網平均計算簿	E2	WORK
	観測スケジュール	Z1	WORK
	図根多角点精度管理表	G1	WORK
	図根多角点成果簿	A2	DATA
	図根多角点成果簿（数値データ）	A3	DATA
	図根多角点網図	F3	DATA
	測量標の地上写真	H1	WORK

表 5-3(c) E 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
一筆地調査 <TE* >	調査図素図	F1	WORK
	調査図一覧図	F2	WORK
	地籍調査票（データ出力用）	B1	DATA
	調査図	F3	DATA

表 5-3(d) F1 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
地籍細部測	地籍細部図根測量 観測手簿	D1	WORK

量 <TF* >	地籍細部図根測量 観測記簿	D2	WORK
	地籍細部図根測量 座標計算書	E1	WORK
	地籍細部図根測量 精度管理表	G1	WORK
	観測スケジュール	Z1	WORK
	三次元網平均計算簿	E2	WORK
	地籍細部図根測量 点検計算簿	E3	WORK
	地籍細部図根測量 セット間較差の点検及び座標計算簿	E4	WORK
	地籍細部図根測量 成果簿	A1	DATA
	地籍細部図根測量 成果簿 (数値データ)	A2	DATA
	細部多角点網図	F1	DATA
	細部図根点配置図	F2	DATA
	一筆地測量 観測手簿	D3	WORK
	一筆地測量 観測記簿	D4	WORK
	一筆地測量 座標計算書	E5	WORK
	一筆地測量 セット間較差の点検及び座標計算簿	E6	WORK
	筆界点成果簿	A3	DATA
	筆界点成果簿 (数値データ)	A4	DATA
	一筆地測量 精度管理表	G2	WORK

表 5-3(e) F2 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
原図の作成 <TF* >	原図 (地籍図)	---	---
	地籍明細図	---	---
	地籍図一覧図	F1	DATA
	筆界点番号図	F2	DATA

表 5-3(f) G 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
地積測定	地積計算簿	E1	WORK

<TG* >	地積測定精度管理表	G1	WORK
	地目別集計表	E2	WORK
	大字別集計表	E3	WORK
	字毎地目別地積集計表	E4	WORK
	地積測定成果簿	B1	DATA
	地積測定成果簿（数値データ）	B2	DATA

表 5-3(g) PA 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
対空標識の 設置 <PA* >	基準点等成果簿（写）	A1	WORK
	標定点選点図	F1	WORK
	標定点選点手簿	C1	WORK
	航測図根点選点図	F2	WORK

表 5-3(h) PB 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
空中写真撮 影 <PB* >	写真標定図	F1	WORK
	密着印画	——	——
	撮影記録	H1	WORK
	撮影コース別精度管理表	G1	WORK
	対空標識確認写真	H2	WORK

表 5-3(i) PC 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
標定点測量 <PC* >	平均図	F1	WORK
	観測図	F2	WORK
	観測手簿	D1	WORK
	観測記簿	D2	WORK
	網平均計算簿	E1	WORK
	偏心要素測定紙	※注	

	対空標識点の偏心計算書	E2	WORK
	受信状況図 (=カーテン情報)	Z1	WORK
	観測スケジュール	Z2	WORK
	GPS 観測手簿	D3	WORK
	GPS 観測記簿	D4	WORK
	偏心計算簿	E3	WORK
	三次元網平均計算簿	E4	WORK
	点検計算簿	E5	WORK
	太陽による方位角観測手簿	D5	WORK
	太陽による方位角計算簿 (年表不要)	E6	WORK
	太陽による方位角計算簿 (年表使用)	E7	WORK
	標定点網図	F3	DATA
	標定点成果簿	A1	DATA
	標定点成果簿 (数値データ)	A2	DATA
	精度管理表	G1	WORK
	対空標識点明細票	E8	WORK

※注：偏心要素測定紙は、対空標識点明細票の該当する標識点と共にファイル化する。

表 5-3(j) PD、PE 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
空中三角測量(航測法) <PD* > 及び 空中三角測量(併用法) <PE* >	空中三角測量の器械座標読定値	D1	WORK
	内部標定残差表 (指数残差表)	E1	WORK
	相互接続標定計算簿	E2	WORK
	基準点変換残差表	E3	WORK
	標定要素・鉛直点表	E4	WORK
	タイ° イント較差表	E5	WORK
	調整計算精度表	E6	WORK
	パ° ス° イント・タイ° イント成果表	E7	WORK
	補備測量観測計算書簿	※注	
	補備測量成果	※注	
	空中三角測量成果表	E8	WORK

	空中三角測量実施一覧図	F1	WORK
	航測図根点配置図	F2	DATA
	航測図根点成果簿	A1	DATA
	航測図根点成果簿（数値データ）	A2	DATA
	筆界点成果簿	A3	DATA
	筆界点成果簿（数値データ）	A4	DATA
	空中三角測量精度管理表	G1	WORK

※注：補備測量を実施した場合は、地上法の地籍調査細区分の該当するファイル名、DATA、WORK 区分に従う。

表 5-3(k) PF 工程成果のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
図化 <PF* >	原図（地籍図）	---	---
	地籍明細図	---	---
	地籍図一覧図	F1	DATA
	筆界点番号図	F2	DATA

表 5-3(l) その他資料等のファイル命名規則

地籍調査 細区分	成果等の名称	カテゴリ 設定記号	DATA, WORK 区分
その他 <TOT >	使用機器検定証明書・試験検査成績書	J1	OTHR
	使用プログラム検定証明書	J2	OTHR
	検査成績表	J3	OTHR
	ファイル説明書	J4	OTHR
	地籍調査総括表	J5	OTHR

6 検符等及び成果の検査

6.1 検符及び押印

電子納品する地籍調査成果等については、当面の間は検符及び押印を要さないものとする。

【解説】

地籍調査事業工程管理及び検査規程、同細則並びに地籍測量及び地積測定における作業の記録及び成果の記載例によると、受注者が作業工程の中で観測値、計算結果、精度管理表等について作業による自己点検及び実施主体が行う行程管理の点検までに主任技術者等が行う自社点検を行うことが定められている。更に精度管理表等では主任技術者等が確認の押印をすることも行われている。

これまで紙媒体で納品されてきた測量成果等では、当該の測量成果等上に直接、検符や押印がなされ点検作業の証拠とされてきた。この該当する成果としては、「手簿等、計算簿、精度管理表等」がある。

この紙媒体の地籍調査成果等に直接検符、押印を行う方法を電子的に置き換えるものとしては電子的な検符や電子署名の方法があるが、未だ十分には確立した技術になっていない状況である。このため、当面の間、電子納品する地籍調査成果等については検符及び押印を要さないものとして、別途、検符及び押印した地籍調査成果等を受発注者間の協議により納品することとする。

すなわち、受注者での点検作業は、電子納品を行う地籍調査成果等から点検用に紙出力を行い、この上で点検を行い、検符及び押印を行うものとする。

この際、電子納品を行う地籍成果等との原本性を保証するものでなければならない。点検方法及び押印した証拠書類の納品及び方法については受発注者間の協議により定める。

6.2 電子納品成果の検査

電子納品を行う地籍調査成果等の検査は、受注者から提出される電子納品用として完成した CD-R から検査用に紙出力を行い、この上で必要な検査を行う。

これまでは、納品する成果品に直接検符を打つことで点検した証拠としていたが、電子化した測量成果品には、点検した証拠である検符を直接打つことが出来ない。

よって、完成した納品用の CD-R から検査用に紙出力を行い、これに直接検符を行うことによって検査を行うこととする。6.1 で受注者が自社内で行った点検作業の証拠書類の納品については、一定期間を定めて受注者側で保管する等、受発注者間で協議する。

7 電子媒体

7.1 電子媒体に貼るラベルについて

成果品の電子納品時における使用媒体に用いるラベルについては、以下の各項目に従うものとする。

(1) 媒体のラベルには、以下のような情報を明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月
- 3) 発注者名
- 4) 受注者名
- 5) 何枚目/総枚数
- 6) ウイルスチェックに関する情報

使用した「ウイルス対策ソフト名」、「ウイルス定義年月日」、「チェック年月日」を明記する。詳細は「土木設計業務等の電子納品要領(案)」による。

- 7) フォーマット形式

(2) 媒体を入れるプラスチックケースのラベルの背表紙には、以下のような情報を横書きで明記する。

- 1) 業務名称
- 2) 作成年月日

(3) 納品する CD-R にラベルを貼り、必要項目を全て記載するものとする。



8 その他留意事項

8.1 電子納品の対象外となる成果等

地籍調査成果のうち、原本自体に意味があるもの及び電子化が困難な以下の成果は電子納品の「対象外」とする。

①原本自体に意味があるもの。

- ・ 建標承諾書
- ・ 地籍図
- ・ 地籍明細書

②電子化が困難なもの

- ・ ネガフィルム
- ・ 密着印画

8.2 測地系

本要領で扱う測地系は、原則として世界測地系とする。

【解説】

測量法改正（平成13年6月20日）によって、平成14年4月1日から測量法に従って行われる地籍調査の測量は、新しい測地系（世界測地系）に準拠して行うこととなった。

このため、地籍調査の成果の電子納品に適用される本要領では、新しい測地系（世界測地系）に準拠した地籍調査成果の納品を原則として義務付けるものである。

付属資料 1

1-1 測量情報管理ファイルの DTD 例

```
<!--TSUR_D01.DTD / 2004/11-->
<!ELEMENT SURVEY (基礎情報,場所情報+,測量情報+,その他?,ソフトメーカー用TAG*)>
<!ATTLIST SURVEY DTD_version CDATA #FIXED "02">

<!-- ***** -->
<!--          基礎情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 基礎情報 (適用要領基準,助言番号,製品仕様書名または作業規程名,地籍調査成果格納用フォルダ名?,基準点測量成果格納用フォルダ名?,水準測量成果格納用フォルダ名?,地形測量成果格納用フォルダ名?,路線測量成果格納用フォルダ名?,河川測量成果格納用フォルダ名?,用地測量成果格納用フォルダ名?,ドキュメント格納用フォルダ名?)>

<!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 助言番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 製品仕様書名または作業規程名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 基準点測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 水準測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地形測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 路線測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 河川測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 用地測量成果格納用フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT ドキュメント格納用フォルダ名 (#PCDATA)>

<!--*****-->
<!--          場所情報          -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 場所情報 (測量区域番号,測量区域名?,区域情報)>

<!ELEMENT 測量区域番号 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域名 (#PCDATA)>
<!--*****-->
```

```

<!--                区域情報                -->
<!--*****-->
<!ELEMENT 区域情報 (西側境界座標経度?, 東側境界座標経度?, 北側境界座標緯度?, 南側境界座標緯度?,
平面直角座標系, 西側境界平面直角座標?, 東側境界平面直角座標?, 北側境界平面直角座標?, 南側境界平
面直角座標?)>

<!ELEMENT 西側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界座標経度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界座標緯度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 平面直角座標系 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 西側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 東側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 北側境界平面直角座標 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 南側境界平面直角座標 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--                測量情報                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 測量情報 (測量区分, 地籍調査細区分, 地籍調査記録フォルダパス名, 地籍調査成果フォルダ
パス名?, その他データフォルダパス名?, 測量区域No, 等級精度, 画像種別?, 解像度?, アナログデジタル
区分?, 新規修正区分?, 面積?, 距離?, 点数?, モデル数?)>

<!ELEMENT 測量区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査細区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査記録フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果フォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT その他データフォルダパス名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 測量区域No (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--                等級精度                -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 等級精度 (等級?, 精度?)>
<!ELEMENT 等級 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 精度 (#PCDATA)>

```

<!ELEMENT 画像種別 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 解像度 (#PCDATA)>
<!ELEMENT アナログデジタル区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 新規修正区分 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 面積 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 距離 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 点数 (#PCDATA)>
<!ELEMENT モデル数 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!-- その他 -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?, 予備*)>

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>

1-2 地籍調査成果管理ファイルの DTD 例

```
<!-- TISK_D01.DTD / 2004/11-->
<!ELEMENT SURV_DATA (地籍調査成果情報+,その他?,ソフトメーカー用TAG?)>
<!ATTLIST SURV_DATA DTD_version CDATA #FIXED "01">

<!-- ***** -->
<!--          地籍調査成果情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 地籍調査成果情報 (地籍調査区分フォルダ名,地籍調査成果区分フォルダ名,地籍調査細区
分フォルダ名?,地籍調査成果名称,地籍調査成果ファイル形式,地籍調査成果レコードフォーマット?,
地籍調査成果作成ソフトウェア名?,成果ファイル情報+)>

<!ELEMENT 地籍調査区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査細区分フォルダ名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果名称 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル形式 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果レコードフォーマット (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果作成ソフトウェア名 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          成果ファイル情報          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT 成果ファイル情報 (地籍調査成果ファイル名,地籍調査成果ファイル名副題?)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 地籍調査成果ファイル名副題 (#PCDATA)>

<!-- ***** -->
<!--          その他          -->
<!-- ***** -->
<!ELEMENT その他 (受注者説明文?,予備*)>¥

<!ELEMENT 受注者説明文 (#PCDATA)>
<!ELEMENT 予備 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカー用TAG (#PCDATA)>
```

付属資料 2

2-1 測量情報管理ファイルの XML 例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<!DOCTYPE SURVEY (View Source for full doctype...)>
<SURVEY DTD_version="02">
  <基礎情報>
    <適用要領基準>地籍 200502-01</適用要領基準>
    <助言番号>99999999</助言番号>
    <製品仕様書名または作業規程名>地籍調査作業規程準則及び同運用基準</製品仕様書名または
      作業規程名>
    <地籍調査成果格納用フォルダ名>TISEKI</地籍調査成果格納用フォルダ名>
  </基礎情報>
  <場所情報>
    <測量区域番号>1</測量区域番号>
    <測量区域名>〇〇町の一部地区</測量区域名>
  </場所情報>
  <区域情報>
    <平面直角座標系>3</平面直角座標系>
    <西側境界平面直角座標>86000.00</西側境界平面直角座標>
    <東側境界平面直角座標>87600.00</東側境界平面直角座標>
    <北側境界平面直角座標>-184200.00</北側境界平面直角座標>
    <南側境界平面直角座標>-186000.00</南側境界平面直角座標>
  </区域情報>
  </場所情報>
  <測量情報>
    <測量区分>地籍調査</測量区分>
    <地籍調査細区分>地籍図根三角測量</地籍調査細区分>
    <地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/CPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>
    <地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/CPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>
    <測量区域 No>1</測量区域 No>
  </測量情報>
  <等級精度>
    <精度>0</精度>
  </等級精度>
  <アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>
  <新規修正区分>1</新規修正区分>
  <点数>5</点数>
```

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地籍図根多角測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>3</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<点数>576</点数>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地籍図根多角測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/DPROC_B</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/DPROC_B</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>4</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<点数>13</点数>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地籍細部図根測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F1PROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F1PROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>3</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<点数>5401</点数>

</測量情報>

二<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地籍細部図根測量</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F1PROC_B</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F1PROC_B</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二<等級精度>

<精度>4</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

<点数>482</点数>

</測量情報>

二<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>原図の作成</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F2PROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F2PROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二<等級精度>

<精度>3</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

二<測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>原図の作成</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/F2PROC_B</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/F2PROC_B</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二<等級精度>

<精度>4</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地積測定</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/GPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/GPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>3</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>地積測定</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/GPROC_B</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/GPROC_B</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>4</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>一筆地調査</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/EPROC_A</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/EPROC_A</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>3</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

二 <測量情報>

<測量区分>地籍調査</測量区分>

<地籍調査細区分>一筆地調査</地籍調査細区分>

<地籍調査記録フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/WORK/EPROC_B</地籍調査記録フォルダパス名>

<地籍調査成果フォルダパス名>SURVEY/TISEKI/DATA/EPROC_B</地籍調査成果フォルダパス名>

<測量区域 No>1</測量区域 No>

二 <等級精度>

<精度>4</精度>

</等級精度>

<アナログデジタル区分>2</アナログデジタル区分>

<新規修正区分>1</新規修正区分>

</測量情報>

</SURVEY>

2-2 地籍調査成果管理ファイルのXML例

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS" ?>
<!DOCTYPE SURV_DATA (View Source for full doctype...)>
<SURV_DATA DTD_version="01">
  <地籍調査成果情報>
    <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
    <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
    <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
    <地籍調査成果名称>基準点成果簿（写）</地籍調査成果名称>
    <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
    <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
  <成果ファイル情報>
    <地籍調査成果ファイル名>TCAA1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
    </成果ファイル情報>
  </地籍調査成果情報>
  <地籍調査成果情報>
    <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
    <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
    <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
    <地籍調査成果名称>既知点点の記</地籍調査成果名称>
    <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
    <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
  <成果ファイル情報>
    <地籍調査成果ファイル名>TCAC1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
    <地籍調査成果ファイル名副題>今年度の地籍図根三角測量に使用した既知点の点の記</地籍調査成果ファイル名副題>
    </成果ファイル情報>
  </地籍調査成果情報>
  <地籍調査成果情報>
    <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
    <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
    <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
    <地籍調査成果名称>観測手簿</地籍調査成果名称>
    <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
    <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
  <成果ファイル情報>
```

<地籍調査成果ファイル名>TCAD2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>G P S 観測手簿</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>観測記簿</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAD3001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>G P S 観測記簿</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>観測記録簿</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAD9001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>G P S 観測記録簿</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>点検計算書</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAE2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>網平均計算書</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TCAE3001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 <地籍調査成果ファイル名副題>三次元網平均計算書</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>選点図</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TCAF1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>平均図</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TCAF2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二 <地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>三角点精度管理表付図</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二 <成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAF3001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二 <地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>観測計画図</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二 <成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAF9001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>G P S 観測計画図</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二 <地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>三角点精度管理表</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二 <成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAG1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二 <地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>受信状況図</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAJ1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>天空図</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>観測スケジュール</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAJ2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>三角点成果簿</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAA1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>三角点成果簿数値データ</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>TXT</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果レコードフォーマット>カンマ区切りの TXT 形式</地籍調査成果レコードフォーマット>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>Microsoft(R)メモ帳 Version5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAA3001.txt</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>三角点成果簿を数値データで記録したファイル</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>点の記</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAC3001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>CPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>三角点網図</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>p21</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>AUTOCAD 2005</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TCAF4001.p21</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>基準点成果簿（写）</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAA1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>観測手簿</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAD1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿 No. 1</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAD1002.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿 No. 2</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAD1003.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>観測手簿 No. 3</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>網平均計算書</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAE2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>選点図</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAF1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>地籍図根多角点兼数値図根配点図</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点精度管理表</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAG1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点成果簿</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAA2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点成果簿数値データ</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>TXT</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果レコードフォーマット>カンマ区切りの TXT 形式</地籍調査成果レコードフォーマット>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>Microsoft(R)メモ帳 Version5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAA3001.txt</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>図根多角点成果簿を数値データで記録したファイル</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点網図</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>p21</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>AUTOCAD 2005</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDAF4001.p21</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>図根多角点網図兼数値図根点配置図</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_B</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点成果簿</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDBA2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>DPROC_B</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>図根多角点成果簿数値データ</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>TXT</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果レコードフォーマット>カンマ区切りの TXT 形式</地籍調査成果レコードフォーマット>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>Microsoft(R)メモ帳 Version5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TDBA3001.txt</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>図根多角点成果簿を数値データで記録したファイル</地籍調査成果ファイル名副題>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>

<地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>

<地籍調査細区分フォルダ名>EPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>

<地籍調査成果名称>調査図一覧図</地籍調査成果名称>

<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

</成果ファイル情報>

</地籍調査成果情報>

二<地籍調査成果情報>

<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>EPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>調査図素図</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 1</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2002.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 2</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2003.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 3</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2004.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 4</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2005.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 5</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2006.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 6</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2007.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 7</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>

二<成果ファイル情報>

<地籍調査成果ファイル名>TEAF2008.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 8</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2009.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 9</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2010.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 10</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2011.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 11</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2012.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 12</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2013.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 13</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEAF2014.pdf</地籍調査成果ファイル名>
<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 14</地籍調査成果ファイル名副題>
</成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>
二<地籍調査成果情報>
<地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
<地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
<地籍調査細区分フォルダ名>EPROC_B</地籍調査細区分フォルダ名>
<地籍調査成果名称>調査図素図</地籍調査成果名称>
<地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
<地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
二<成果ファイル情報>
<地籍調査成果ファイル名>TEBF2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>

<地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 1</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TEBF2002.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 <地籍調査成果ファイル名副題>調査図素図 No. 2</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>F1PROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>観測手簿</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TFAD1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 <地籍調査成果ファイル名副題>細部測量観測手簿</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>F1PROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>成果簿</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
 二 <成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TDAA2001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>
 </地籍調査成果情報>
 二 <地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>F2PROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>地籍図一覧図</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>p21</地籍調査成果ファイル形式>

<地籍調査成果作成ソフトウェア名>AUTOCAD 2005</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
二<成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TFAF1001.p21</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>
二<地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>WORK</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>GPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>面積計算書</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
二<成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TGAE1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 <地籍調査成果ファイル名副題>地積測定計算簿 No. 1</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
二<成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TGAE1002.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 <地籍調査成果ファイル名副題>地積測定計算簿 No. 2</地籍調査成果ファイル名副題>
 </成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>
二<地籍調査成果情報>
 <地籍調査区分フォルダ名>TISEKI</地籍調査区分フォルダ名>
 <地籍調査成果区分フォルダ名>DATA</地籍調査成果区分フォルダ名>
 <地籍調査細区分フォルダ名>GPROC_A</地籍調査細区分フォルダ名>
 <地籍調査成果名称>地積測定成果簿</地籍調査成果名称>
 <地籍調査成果ファイル形式>PDF</地籍調査成果ファイル形式>
 <地籍調査成果作成ソフトウェア名>ADOBE ACROBAT 5.0</地籍調査成果作成ソフトウェア名>
二<成果ファイル情報>
 <地籍調査成果ファイル名>TGAB1001.pdf</地籍調査成果ファイル名>
 </成果ファイル情報>
</地籍調査成果情報>
</SURV_DATA>

付属資料 3

3-1 地籍調査成果簿出力フォーマット

(1) 地籍調査成果簿出力フォーマット基本構造

- 1) 成果簿出力フォーマットは、1行1レコードのテキストファイルとする。
- 2) 文字コードは、ASCIIコード、漢字コードはシフトJISコードとする。
- 3) 成果表出力フォーマットのファイルは、拡張子を”TXT”とする。
- 4) レコードの記述方法

データ区分	区切り	項目 1	区切り	・・・	項目 n	区切り	CRLF
-------	-----	------	-----	-----	------	-----	------

データ区分	<ul style="list-style-type: none"> ・その行のデータの種類を表す記号。この情報は省略できない。 ・1文字目が英字で2, 3文字目が数字の3文字とする。
区切り	<ul style="list-style-type: none"> ・各データの項目は、“,” (カンマ) によって区切るものとする。
項目 1 ~ 項目 n	<ul style="list-style-type: none"> ・項目を省略する場合は“,”とする。 ・データ区分に応じて項目数は変わり、次ページ以降の記載通りとする。
CRLF	<ul style="list-style-type: none"> ・各行の終了コード(0D0Ah)で、各行の最大長は、CRLFを含まず、128バイトとする。

【成果簿出力フォーマット注意事項】

- ①名称・コメントなど、文字として認識するデータには、“,” (カンマ) を使用しないこととする。また、数字データにも“,” (カンマ) を使用しないこととする。
- ②名称、コメント以外のデータは、半角文字とする。

(2) 地籍調査成果簿フォーマット

- 1) コメントデータ (コメントを示すデータ)

Z00, コメント, フォーマット識別子, バージョン, CRLF

Z00	コメントを示すデータ区分。	省略不可
コメント	桁数の制限はしない。	省略可
フォーマット識別子	本フォーマットの種類を記載する。識別子の表記は下記のとおり。(整数1桁) 0: 地籍調査成果フォーマット	省略不可

バージョン	本フォーマットのバージョンを記述する。バージョン表記はマイナーチェンジを考慮して小数点形式とし、整数 2 桁、小数点以下 2 桁の 5 桁表記とする。(01.00 に固定)	省略不可
-------	--	------

2) タイトルデータ (業務のタイトル名を示すデータ)

Z01, タイトル, CRLF

Z01	タイトルを示すデータ区分。	省略不可
タイトル	桁数の制限はしない。	省略可

3) 測地系データ (測地系を示すデータ)

Z02, 測地系, 座標系, CRLF

Z02	測地系を示すデータ区分。	省略不可
測地系	0: 世界測地系、1: 日本測地系 (0: 原則として世界測地系に固定)	省略不可
座標系	平面直角座標系	省略可

4) 座標出力開始データ (座標データの出力開始を示すデータ)

A00, CRLF

A00	座標データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

5) 座標データ (点の座標を示すデータ)

A01, 点番号, 点名称, 緯度, 経度, X座標, Y座標, 座標系, 標高, ジオイド高, CRLF

A01	座標データを示すデータ区分。	省略不可
点番号	5 桁の整数とする。	省略不可
点名称	40 バイト以下	省略不可
緯度, 経度	緯度は、小数点型式 (DD° .MM' SS" SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 経度は、小数点型式 (DDD° .MM' SS" SSSS) とし、秒以下 4 桁までとする。 X, Y 座標の記載がある場合は省略可。	省略可
X, Y	小数点形式、m 単位とし、m 以下 3 桁まで記載する。 緯度、経度の記載が有る場合は省略可。	省略可

座標系	平面直角座標系	省略不可
標高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 水平網のみの場合省略可。	省略可
ジオイド高	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可

6) 属性データ（点の属性を示すデータ）

A02, 種別, 等級（次数）, 縮尺係数, 真北方向角, 標識, 測定方式, 材質, 精度区分, 兼用点名, アンテナ高, CRLF

A02	属性データを示すデータ区分。	省略不可
種別	1：基本三角点、2：四等三角点、3：標定点 4：地籍図根三角点、5：地籍図根多角点 6：細部図根点、7：その他の図根点、 8：航測図根点、9：図解図根点、10：筆界点 ※図解図根点は図解法で測量時のみ。	省略不可
等級（次数）	2桁の整数とする。 10：電子基準点 11～14：1等～4等 21～24：1級～4級 31～33：1次～3次 地籍図根多角点 41～42：4次～5次 細部多角点 43～44：1次～2次 放射点 （地籍図根三角点は3級基準点と同様とする。） 筆界点の場合は省略可。	省略可
縮尺係数	小数点形式、小数点以下6桁までとする。 地籍図根三角点の場合は省略不可。	省略可
真北方向角	小数点形式（DD° . MM' SS" S）とし、秒以下1桁までとする。	省略可
標識	1：非埋標、2：本点、3：永久標識、 4：筆界基準杭、5：その他	省略不可
測定方式	1：地上法、2：GPS法、3：航測法、4：その他 11：図解法、12：数値法、13：航測数値法 14：正射写真図法、15：併用図解法 16：併用数値法、17：その他	省略不可

	0：不明 (図根点等の場合は、0～4の中から選択し、 筆界点の場合は、11～17及び0の中から選択 する。) ※図解法、併用図解法は図解法で測量時のみ。 ※ここに記述している地上法とは、TS 測量による 地上法であり、GPS 法とは、GPS 測量による地上 法のことである。	
材質	1：金属標、2：鋳、3：プラスチック、4：コンクリート、 5：真鍮、6：アルミプレート、7：石、8：刻印、9：木 10：ペンキ、11：マンホール利用、12：その他、0：不明	省略可
精度区分	1：甲1、2：甲2、3：甲3、4：乙1、5：乙2 6：乙3 図根点・筆界点は省略不可。	省略可
兼用点名	当該点が地籍図根点等を兼ねた場合の地籍図根 点等の点名。(筆界点の場合のみ)	省略可
アンテナ高	等級10：電子基準点の時省略不可。	省略可

7) 視準数データ (視準成果の方向数を示すデータ)

A03, 方向数, CRLF

A03	視準成果の方向数を示すデータ区分。	省略可
方向数	2桁以内の整数とする。 (方向が無い場合は0を入れる。)	省略不可

視準成果がない(方向数=0)場合は、視準(A04)レコードを省略可。

8) 視準数データ (点の視準成果を示すデータ)

A04, 点番号, 点名称, 等級(次数), 平均方向角, 距離, 備考, 観測日 CRLF

A04	視準成果データを示すデータ区分。	省略可
点番号	5桁の整数とする。	省略不可
点名称	40バイト以下	省略不可
等級(次数)	2桁の整数とする。 10：電子基準点 11～14：1等～4等 21～24：1級～4級 31～33：1次～3次 地籍図根多角点	省略不可

	41～42：4次～5次 細部多角点 43～44：1次～2次 放射点 (地籍図根三角点は3級基準点と同様とする。)	
平均方向角	平均方向角は、小数点形式 (DD° . MM' SS" S) とし、秒以下1桁まで記載する。	省略不可
距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略不可
備考	桁数の制限は行わず、各社システムに取り込む際、有効桁数に調整する。	省略可
観測日	形式 (YYYYMMDD：年月日) 観測が複数日にわたる場合は、観測初日を記載する。	省略可

9) 座標出力終了データ (座標データの出力終了を示すデータ)

A99, CRLF

A99	座標データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

10) 路線出力開始データ (路線データの出力開始を示すデータ)

P00, CRLF

P00	路線データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

11) 路線開始データ (路線開始を示すデータ)

P01, 路線名, 次数, 測点数, 路線長, 精度区分, CRLF

P01	当該路線の開始を示すデータ区分。	省略不可
路線名	40バイト以下 放射法の時のみ省略可。	省略可
次数	1桁の整数とする。 放射法の時のみ省略可。	省略可
測点数	2桁の整数とする。	省略不可
路線長	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。 放射法の時のみ省略可。	省略可
精度区分	1：甲1、2：甲2、3：甲3、4：乙1、5：乙2 6：乙3	省略不可

12) 観測点データ（路線を構成する測点を示すデータ）

P02, 点番号, 点名称, 平均方向角, 平均距離, CRLF

P02	路線を構成する測点を示すデータ区分。	省略不可
点番号	5桁の整数とする。	省略可
点名称	40バイト以下	省略不可
平均方向角	平均方向角は、小数点形式（DD° . MM' SS" S）とし、秒以下1桁まで記載する。	省略可
平均距離	小数点形式、m単位とし、m以下3桁まで記載する。	省略可

13) 路線出力終了データ（路線データの出力終了を示すデータ）

P99, CRLF

P99	路線データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	---------------------	------

14) 出力開始データ（地積測定データの出力開始を示すデータ）

G00, CRLF

G00	地積測定データの出力開始を示すデータ区分。	省略不可
-----	-----------------------	------

15) 地積測定データ（筆ごとの地積を示すデータ）

G01, 大字コード, 小字コード, 大字名称, 小字名称, 地番, 地目, 面積, 精度区分, CRLF

G01	筆の面積を示すデータ区分。	省略不可
大字コード	大字コードの整数とする。 大字が無い時は0を格納する。	省略不可
小字コード	小字コードの整数とする。 小字が無い時は0を格納する。	省略不可
大字名称	大字の名称とする。 大字が無い時は「空白」とする。	省略不可
小字名称	小字の名称とする。 小字が無い時は「空白」とする。	省略不可
地番	40バイト以下	省略不可
地目	地目のコードを2桁の整数で格納する。	省略不可
面積	小数点形式、㎡単位とし、㎡以下4桁目を四捨五入し、3桁まで記載する。	省略不可
精度区分	1: 甲1、2: 甲2、3: 甲3、4: 乙1、5: 乙2	省略不可

	6 : 乙 3	
--	---------	--

16) 図面番号データ (筆が属する図面の数を示すデータ)

G02, 図面番号数, CRLF

G02	図面番号数を示すデータ区分。	省略不可
図面番号数	2桁の整数とする。	省略不可

17) 図面番号データ (筆が属する図面を示すデータ)

G03, 図面番号, 分属, CRLF

G03	筆が属する図面を示すデータ区分。	省略不可
図面番号	40バイト以下	省略不可
分子(分属)	2桁の整数とする。	省略可
分母(分属)	2桁の整数とする。	省略可
記号(分属)	1地籍図の区域内に同一地番の分属が2つ以上ある場合の記号。	省略可

18) 出力終了データ (地積測定データの出力終了を示すデータ)

G99, CRLF

G99	地積測定データの出力終了を示すデータ区分。	省略不可
-----	-----------------------	------

19) 地籍図根三角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01.00

Z01, 平成16年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地籍図根三角測量成果,

Z02, 0, 3,

A00,

A01, 1, 布袋岩, , , -184114.460, 85917.940, 3, 34.250, 34.730,

A02, 2, 14, 0.999990, , 3, 0, , , ,

A03, 0,

A01, 2, 黒浜, , , -185236.260, 87504.410, 3, 184.390, 34.770,

A02, 2, 14, 0.999994, , 3, 0, , , ,

A03, 1,

A04, 4, M04102G, 23, 192.0202, 570.794, , ,

A01, 3, M04009G, , , -185187.145, 87022.072, 3, 58.290, ,

A02, 4, 23, 0.999993, , 3, 4, , , ,

A03, 2,

A04, 5, M04008G, 23, 46. 3528, 447. 508, , ,
A04, 6, M04101G, 23, 123. 5202, 315. 715, , ,
A01, 4, M04102G, , , -185794. 510, 87385. 405, 3, 80. 520, ,
A02, 4, 23, 0. 999994, , 3, 4, , , ,
A03, 1,
A04, 2, 黒浜, 14, 12. 0202, 570. 794, , ,
A99,

20) 地籍図根多角測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地籍図根多角測量成果,
Z02, 0, 3,
A00,
A01, 1, M04M04111-1, , , -184927. 869, 87381. 916, 3, 35. 215, ,
A02, 5, 31, , , 2, 3, 3, , ,
A01, 2, M04M04211-2, , , -184952. 325, 87386. 734, 3, , ,
A02, 5, 32, , , 5, 3, 3, , ,
A01, 3, M04M04311-3, , , -184969. 193, 87393. 368, 3, , ,
A02, 5, 33, , , 5, 2, 3, , ,
A01, 4, M04M04111-4, , , -184995. 287, 87387. 208, 3, , ,
A02, 5, 31, , , 2, 3, 3, , ,
A01, 5, M04M04111-5, , , -185019. 010, 87391. 712, 3, , ,
A02, 5, 31, , , 5, 3, 3, , ,
A99,
P00,
P01, M04M04111, 1, 7, 185. 905, 3,
P02, , M04008G, 144. 1439, 59. 459,
P02, 1, M04M04111-1, 168. 5118, 24. 926,
P02, 2, M04M04111-2, 158. 3151, 18. 126,
P02, 3, M04M04111-3, 193. 1657, 26. 811,
P02, 4, M04M04111-4, 169. 1500, 24. 147,
P02, 5, M04M04111-5, 156. 3559, 32. 436,
P02, , 黒浜, , ,
P99,

21) 地籍細部測量成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
 Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地籍細部測量成果,
 Z02, 0, 3,
 A00,
 A01, 1, M04M04414-1, , , -184831. 731, 86798. 690, 3, , ,
 A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
 A01, 2, M04M04414-2, , , -184837. 491, 86771. 019, 3, , ,
 A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
 A01, 3, M04M04414-3, , , -184850. 393, 86738. 265, 3, , ,
 A02, 6, 41, , , 5, 3, 2, , ,
 A01, 4, M04M04414-1-A, , , -184985. 354, 86797. 157, 3, , ,
 A02, 7, 43, , , 5, 3, 3, , ,
 A99,
 P00,
 P01, M04M04414, 4, 5, 103. 276, 2,
 P02, , M04M0414-11, 260. 1124, 16. 933,
 P02, 1, M04M04414-1, 258. 1428, 28. 264,
 P02, 2, M04M04414-2, 248. 3001, 35. 203,
 P02, 3, M04M04414-3, 259. 1137, 22. 876,
 P02, , M04M0414-6,
 P01, , , 2, 37. 722, 3,
 P02, 1, M04M0414-1, 32. 2142, 37. 722,
 P02, 4, M04M04414-1-A,
 P99,

22) 筆界点成果の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
 Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 筆界点成果,
 Z02, 0, 3,
 A00,
 A01, 1, C674, , , -185563. 647, 86730. 528, 3, , ,
 A02, 10, , , , 5, 2, 3, , ,
 A01, 2, C675, , , -185564. 320, 86729. 484, 3, , ,
 A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,
 A01, 3, C676, , , -185575. 765, 86741. 224, 3, , ,
 A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,

A01, 4, C677, , , -185576. 369, 86740. 270, 3, , ,
A02, 10, , , , 5, 3, 3, , ,
A01, 5, C700, , , -185916. 512, 87121. 144, 3, , ,
A02, 10, , , , 4, 3, 3, , ,
A01, 6, C707, , , -185856. 065, 87255. 903, 3, , ,
A02, 10, , , , 4, 3, 3, M04M04113-8, ,
A99,

23) 地積測定成果簿の数値ファイルの記録例

Z00, SEIKA_Ver. 1, 0, 01. 00,
Z01, 平成 16 年度〇〇町の一部地区 地籍調査業務 地積測定成果,
Z02, 0, 3,
G00,
G01, 110, 1, 〇〇, △△, 1203, 3, 310. 329, 3,
G02, 1,
G03, M0422-4, , , ,
G01, 110, 1, 〇〇, △△, 1204, 1, 868. 844, 3,
G02, 2,
G03, M0422-2, 1, 2, ,
G03, M0422-4, 2, 2, ,
G01, 110, 2, 〇〇, △△, 1419, 7, 1181. 725, 3,
G02, 3,
G03, M0432-2, 1, 2, A,
G03, M0432-2, 1, 2, B,
G03, M0433-1, 2, 2, ,
G01, 110, 4, 〇〇, △△, 道-2, 81, 718. 114, 3,
G02, 2,
G03, M0422-2, 1, 2, ,
G03, M0422-4, 2, 2, ,
G99,